

人権について訴える水無さん



## 差別のない豊かな町を目指して

◎鬼北町人権を考える集い

人権尊重意識の高揚を目的とした「鬼北町人権を考える集い」は12月3日、広見体育センターで開かれました。

この催しでは、日吉コールナチュレルによるコーラス披露、小中学生による人権作文発表の後、メディアなどで活躍する水無昭善さんの「この社会でより良く生きるには」と題した講演が行われました。

来場者は真剣な表情で、それぞれの発表に耳を傾けていました。

鬼北文楽保存会による文楽披露



## 芸能発表で和の文化を堪能

◎第7回きほく芸能まつり

鬼北町文化協会(芝令香会長)に所属する団体の芸能発表会「きほく芸能まつり」は11月23日、広見体育センターで行われました。

日頃の協会活動の一端を披露することを目的に行われているこの発表会。各団体から、文楽、詩吟、民舞や和楽器の演奏などさまざまな伝統芸能の発表がありました。

訪れた大勢の客は、会員らの発表に見入り、和の伝統芸能を堪能していました。

対策を協議する消防団幹部



## 大規模災害発生時の対応課題残す

◎鬼北町・消防団合同防災訓練

町と消防団が合同で行う「防災訓練」は12月4日、町内一斉に行われました。

この訓練は午前8時に南海地震が発生したことを想定して行われました。地震発生後、町内の至るところで災害が起き、その報告が各消防団から災害対策本部に無線を通して報告されるという訓練。発生と同時に各部から無線が入り対応が遅れることも。大規模災害発生時の情報伝達の対応に課題を残し、次への教訓となりました。

息のあった演奏を披露



## 体験を基に夢を見る大切さ訴える

◎鬼北町人権コンサート

人権教育活動の一環である「子どもたちのための人権コンサート」は11月25日、広見中学校体育館で行われ、町内の小学生が参加しました。

コンサートは、ベースの奥田勝彦さんとフルート奏者の奥田良子さんのユニット「エスペランサ」を招いて行われ、全6曲が披露されました。曲の間には、二人の思春期の悩み、夢、病気との闘いなど、現在に至るまでのさまざまな体験談を話し「夢をあきらめないでほしいあらゆる差別を許さないで」と訴えました。